

案内マップ

Guide map

世田谷・みどりのフィールドミュージアム 二子玉川公園周辺地区



A-1~G-6 多摩川
山梨県・東京都・神奈川県を流れる多摩川水系の本流。全長138km、流域面積1,240km²の一級河川です。水辺の野草や野鳥など多くの生きものが見られます。

A-1 兵庫島公園
兵庫島は多摩川と野川からの土砂の堆積によって形成され、島を中心に流れや兵庫池、広場があります。広場では、ショウリョウバッタなど草むらにすむ生きものに出会えます。兵庫島の名前は、昔、新田義興の家臣・由良兵衛助が最期を遂げたことから名付けられたといわれています。

B-1 多摩川高島屋S・C本館屋上庭園
商業施設緑化の先駆けとして1969年に開園しました。天然の芝生を敷き詰めた「風と芝生の丘」では、多摩川から吹く心地よい風や紅葉など、四季の移り変わりを楽しめます。また、親子自然散策ツアーなどのイベントも実施しています。
【開園時間】10:00~20:00
(商業施設の営業時間は要問合せ)

C-2 二子玉川ライズルーフガーデン
多摩川の河岸段丘や等々力渓谷をイメージしており、「原っぱ広場」や「めだかの池」「青空デッキ」「楽園広場」でみどりを身近に体感できます。また、絶滅危惧種であるカラワノギクの育成など、周辺地域の生態系ネットワークの形成に貢献する取り組みを行っています。
【開園時間】10:00~17:00
(商業施設の営業時間は要問合せ)

C-3 二子玉川公園
区民と共に植樹した「世田谷いのちの森」や「子ども広場」、区立公園初の本格的な日本庭園「帰真園」などがあります。「帰真園」では区登録有形文化財「旧清水家住宅書院」を復元しています。
【帰真園の開園時間】
3月~10月 9:00~17:00
11月~2月 9:00~16:30
【帰真園の休園日】
火曜日(火曜日が祝日の場合は開園)
年末年始(12月29日~1月3日)

D-1 五島美術館
1960年に私立の美術館として開館し、実業家五島慶太による日本・東洋の古美術を中心とした国宝5件、重要文化財50件を含む約5000件の美術収集品が保存・展示されています。敷地内にある庭園は武蔵野の雑木林の面影を残しています。

D-1 上野毛稲荷神社
創立年代は推定16世紀で、穀物や農業一般をつかさどる神、上野毛の鎮守の神として古くから尊崇されてきました。名木100選のアカガシヤタブノキが見られます。

D-2 上野毛自然公園
国分寺崖線にある公園です。斜面には多くの木々があり、木陰を散策できます。また、崖上広場にはヤエザクラがあり、4月頃には見事に開花します。

D-3 上野毛稲荷塚古墳
小規模な前方後円墳(全長約33m、後円部の高さ3m)と推定され、区指定史跡となっています。4世紀末に造られた野毛古墳群で唯一の前方後円墳と考えられ、周溝や埋葬施設が発掘され、鉄刀、管玉などが出土しています。

F-3 玉川野毛町公園
かつてゴルフ場であったところに開設したみどり豊かな公園です。野球場、テニスコートなどの有料施設のほか、広場、デイキャンプコーナー、都史跡である野毛大塚古墳などがあります。古墳の頂上近くには名木百選のエノキがあります。

F-4 野毛大塚古墳
国分寺崖線上に広がる野毛古墳群の中で最大規模の帆立貝形古墳(全長82m、後円部直径68m、高さ11m)です。帆立型古墳としては全国でも最大級です。周囲には馬蹄形の濠がめぐり、古墳の表面は墓石で覆われています。出土した勾玉やガラス玉は東京国立博物館に所蔵されています。

F-4 野毛六所神社
旧野毛村に散在していた6つの神社の祭神を合祀した神社。そのため、祭神は六柱それぞれの様相です。丸子川から坂道を上ると左手石段の上に大きな鳥居が見えます。

F-4 善養寺
境内にある都天然記念物のカヤノキは大木で見るものを圧倒します。お寺には五結杵(法具の金剛杵の両端が5つに分かれているもの)が寺宝として祀られています。お香で心身を清めた者がこの五結杵に額をつけるご利益を授かると言われていました。

G-3 横穴古墳(等々力渓谷3号横穴)
渓谷の左岸崖面では、古墳時代末期から奈良時代に構築された横穴墓が6基以上発見されています。中でも1973(昭和48)年に発見された3号横穴は、典型的な横穴墓の形態を留め、埋葬人骨や副葬品の状態も良好であったため、保存処置が講じられました。横穴は外から内部を観察できます。

G-4 等々力不動尊
瀧轟山明王院等々力不動尊は平安時代末期の1100年頃、真言宗中興の祖、興教大師覺鑿上人が開いた霊場(等々力三丁目 満願寺別院)で、等々力の「お不動様」として親しまれています。戦国時代には世田谷城主の蒔田の吉良氏が戦勝祈願を行い、村人は厄難招福を祈りました。
『お不動様』から渓谷に下りると創建由来の「お瀧(不動の滝)があり、古くから今日まで滝に打たれて行をする人々が各地から訪れています。この滝の音が響き渡り「轟いた」のが『等々力』の地名の由来という言い伝えがあります。

G-4 等々力渓谷公園
東京23区内唯一の渓谷です。谷沢川沿いの遊歩道ではケヤキやシラカシなどの木々やセキショウなどの湿性植物、シダやコケ、武蔵野れき層などの地層を観察できます。また、日本庭園や横穴古墳、不動の滝、等々力不動尊など多くの見所があります。
【日本庭園の開園時間】
3月~10月 9:00~17:00
11月~2月 9:00~16:30

名木 世田谷名木百選
区民等によって構成された名木百選選定委員会において、区内で親しまれている樹木を名木百選として1987(昭和62)年に選定しました。30年以上を経て名木の状況が変わったことから、新規名木を公募し、2020(令和2)年に既存の名木と合わせて150本を名木として選定・再選定しました。

世田谷地域風景資産
生活や文化が感じられる街並みや、人々が行き交う商店街の賑わいなど、そこに暮らす人々に共有され、みんなが誇りと愛着を持っている大切な風景を「守り、育て、つくる」ことを目的とし、世田谷区風景づくり条例に基づき選定されたものです。

【凡例】

- 世田谷・みどりのフィールドミュージアム 二子玉川公園周辺地区範囲
- おすすめ散策ルート(歩行距離 約7.8km)
- 公園緑地
- 屋上庭園
- 寺社・古墳
- トイレ
- 世田谷名木百選・番外編・都天然記念物
- 世田谷地域風景資産
- 世田谷・みどりのフィールドミュージアム案内板・解説板
- バスのりばとバス路線
- AED

この地区で見られる生きものたち

二子玉川公園の周辺は、多摩川、国分寺崖線、公園緑地など、都市の中でもみどりに恵まれた地域です。樹林地、草地、水辺など、生きものにとってすみやすい環境がそろっていて、昆虫や野鳥、魚など、様々な生きものが暮らしています。案内マップや解説板を参考にしながら、生きものを観察してみてください。

虫 ショウリョウバッタやトノサマバッタ、ギンヤンマ、アキアカネ、ヒメアカタテハなどが見られます。



ショウリョウバッタ
(体長:約70mm)



トノサマバッタ
(体長:約50mm)



ギンヤンマ
(体長:約80mm)



アキアカネ
(体長:約35mm)



ヒメアカタテハ
(開張*:約55mm)



アオスジアゲハ
(開張*:約75mm)

*開張…翅を広げた時の長さ

鳥 チョウゲンボウやモズのほか、アオサギ、カワセミなどの川辺の鳥たちが見られます



チョウゲンボウ
(翼開張*:約70cm)



モズ
(翼開張*:約27cm)



アオサギ
(翼開張*:約160cm)



カワセミ
(翼開張*:約25cm)

*翼開張…翼を開いた時の長さ

魚 多摩川にはオイカワ、ウグイ、アユなどの魚類が生息しています。また、ボラなどの汽水魚が見られます



オイカワ(体長:約15cm)



ウグイ(体長:約30cm)



アユ(体長:約15cm)



ボラ(体長:約50cm)

*汽水魚…淡水と海水が交じり合う場所に生息する魚



国分寺崖線とは

多摩川が10万年以上かけて武蔵野台地を削り取ってきた段丘のことで、立川市から国分寺市、調布市を経由し、世田谷区から大田区へと続く、約30kmの「崖のつらなり」です。世田谷区内では多摩川と野川に沿って約8km続き、高さ10~20mの斜面からなります。緑が帯状に存在し、樹林や湧水などの自然環境に恵まれた崖線は世田谷の「みどりの生命線」です。

生物多様性とは

「生物多様性」とは、「地球に存在する生物の多様さ」を指します。地球上には様々な個性を持った多くの生きものが、直接または間接的に関わりあって生きています。生きもの同士が“食べる・食べられる”の関係で繋がっていることを食物連鎖、また、この生物同士の相互関係である食物連鎖に、生物を取り巻く水、大気、光などを加えた生物社会のまとまりを生態系、といいます。私たち人間は「生物多様性」を基盤とする生態系から日々、多くの恵み(生態系サービス)を受け取ることで生きていられます。

しかし、この生態系サービスの基盤である「生物多様性」は近年、資源の過度な消費や外来種の侵入により急激に失われ、危機にさらされています。1生物種がいなくなるということは、生きもの同士のつながりが多く失われているということで、他種の絶滅にもつながります。生物種が減っていくことは生態系の中で生きる私たち人間にとっても決して無関係ではなく、私たち自身の生きにくさに直結します。身近な生きもの存在から「生物多様性」や私たちにできることを考えてみましょう。

生物多様性を知り、学ぶためのサポート施設

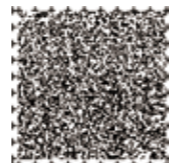
二子玉川公園ビジターセンター

公園内のビジターセンターでは地域の生きものや植物に関する展示をしています。また、センターには解説員が常駐し、自然ガイドウォークや親子向け自然プログラムなど様々なイベントを行っています。どなたでも自由に参加できますので是非ご参加ください。

- 住所: 玉川1-16-1
- 電話: 03-3700-2735
- 開館時間: 8:30~17:00
- 休館日: 年末年始(12月29日~1月3日)



二次元コード



*これは音声コードです



世田谷みどり33

世田谷・みどりのフィールドミュージアム

二子玉川公園周辺地区

案内マップ



二子玉川公園
周辺地区

SETAGAYA GREEN FIELD MUSEUM Information Map

地域全体がみどりの博物館です

「フィールドミュージアム」とは、地域全体(フィールド)をひとつの博物館(ミュージアム)として捉え、学習・体験の場とする考え方です。世田谷のみどりや生きものについての知識が得られ、生物多様性への関心が深められるようにマップや案内板を整備しました。ひとりでのんびり、仲間とわいわい。気分にあわせてお出かけください。

お問い合わせ先

マップ・フィールドミュージアムについて

世田谷区 みどり33推進担当部 みどり政策課
Tel 03-6432-7902 Fax 03-6432-7989



二次元コード

公園緑地の維持管理について

世田谷区 みどり33推進担当部 公園緑地課 玉川公園管理事務所
Tel 03-3704-4972 Fax 03-5706-1361

世田谷区 | SETAGAYA-KU

平成30(2018)年4月発行 令和3年(2021)年10月改訂(第2版)

23区内唯一の渓谷 等々力渓谷

等々力渓谷は武蔵野台地南端を谷沢川が浸食してできた、延長約1kmの東京23区内唯一の渓谷です。等々力不動尊の敷地を含む、渓谷一帯の約3.5haの区域は1999(平成11)年3月に東京都文化財保護条例によって「名勝」の文化財指定を受けています。



東急大井町線の等々力駅から南に歩いて約3分、谷沢川に架かる『ゴルフ橋』脇の階段を下りると、下流に向かって川沿いに散策路があります。この『ゴルフ橋』は昭和の初めに旧下野毛に東急電鉄が開発した約8haの広大なゴルフ場があったことに由来しています。現在の橋は1961(昭和36)年に架けられたアーチ鋼橋でそれ以前は木橋でした。

夏でもひんやりとした渓谷内は樹木が茂り、川のせせらぎや野鳥の音が聞こえ、渓谷のいたる所から水が湧き出ている都会とは思えない自然に触れることができます。

渓谷の“水”

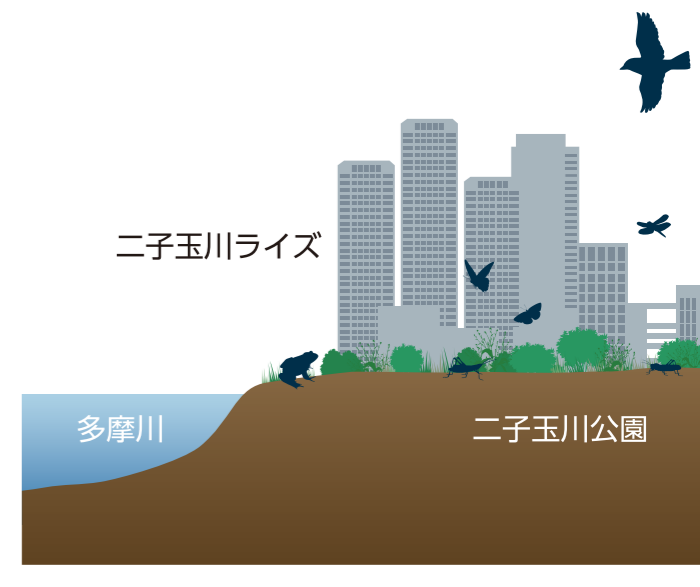
等々力渓谷を構成する谷沢川は現在の上用賀六丁目付近を水源とし、用賀・中町を貫流します。そして、等々力駅付近から渓谷の様相を呈しはじめ、渓谷内で不動の滝も合わさり、その後、一部が六郷用水(丸子川)へ、残りは多摩川へと流れ



ていきます。谷沢川には1994(平成6)年より仙川浄化施設からの導水が始まり、水質の改善がなされました。

また、等々力渓谷には30箇所以上の湧水が存在し、一部は窪地に集まって湿地を形成しています。湧水が流下する緩斜面にはセキショウ草が見られ、湧水が留まる湿地には湿性植物が点在しています。

谷沢川の水質はゴルフ橋から下流に行くにしたがって改善されていることから、谷沢川に流れ込む湧水が水質や水量の維持に大きく寄与していることがうかがえます。等々力渓谷の湧水は東京都により2003(平成15)年に「東京の名湧水57選」に選定されています。



多摩川

二子玉川公園